田村西見当遺跡

発掘調査結果①

五十一年二月十八日から一週間にわたって、田村の西見当遺跡の発掘調査が、岡本健児教授（高知女子大）広田典夫教諭（県立ろう学校）らによって行われました。

このほど、調査結果がまとまりましたので、今回から三回にわたり連載します。

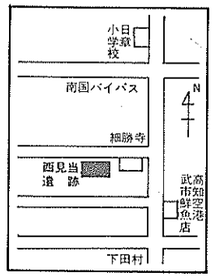
発見は昭和三十年

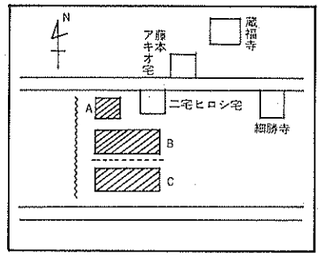
昭和五十一年の二月中旬から下旬にかけて、南国市田村西見当遺跡の発掘調査を致しました。

西見当遺跡の発見は、昭和三十年に市内前の濱在住の濱田春水翁によってなされました。この発見の結果、高知県教育委員会はその年の十二月に、この発見された遺跡の発掘調査を致しました。この時の発掘は十分な予算と発掘日数がなかったのですが、それでも弥生前期中葉の一・八四㍍×一・四五㍍、深さ五十五㌢㍍のだ円形の貯蔵穴と、それを取り巻く周溝の一部を発見しました。周溝の幅一・三㍍、深さ七十八㌢㍍でありました。貯蔵穴と周溝から出土した土器は、弥生前期でも中ごろ（約二千百五十年前）のもので、発見の場所の地名をとって、この様式の土器を西見当式土器と呼ぶことにしました。

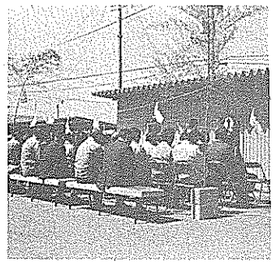
この昭和三十年の発掘から十九年たった昭和四十九年の冬、それも西見当の一角にある墓地の近くで、小学生が土掘りをしていて偶然に多くの土器の破片の埋っているのにいきあたりました。たくさん掘った土器片のなかに、銅鐸と呼ばれる青銅器で作られた弥生時代の祭器のなかにつりさげてならす舌というものがあるのをみて驚きました。それだけでなく、長さ十一㌢㍍になる長い磨製石鏃のあるのにもびっくりしました。

銅鐸の舌というのは、全国的にも四例しかないしろもので、しかも他の三例とは形の違ったものが西見当では発見されたのです。また、長い磨製石鏃は高知県では発見例のないものであります。小学生を連れて、それらがどこから出土したのかを確かめることも致しました。その結果判明したことは、昭和三十年に発掘しました水田の南の水田より、それらが発見されたことが判明致しました。そこで遺跡名を便宜上、次のように呼ぶことにしました。昭和三十年に発掘しました西見当乙五九八～六〇○番地（末松晋さん所有）の水田のある遺跡を西見当遺跡A地区、西見当乙五八一の四、五八五の一、五八五の二番地（岡本敬一さん所有）の水田のある所を西見当遺跡B地区、そして西見当乙五七九番地（佐竹久雄さん）所有の水田にある遺跡を西見当遺跡C地区としました。





▶〝お父さん、ゆっくり走って安全に〟四月六日雨の中、交通安全運動が始まりました。



◀交通安全センターが七月完成予定。免許更新時の講習が広い会場で受けられます。

感謝感激のこと

献血に協力ありがとう

山本尚一（市献血推進協議会長）

嬉しいという字は、女へんに喜ぶと書く。〝うれしいわ〟という言葉は、女性をより美しくより優しく飾り立てるものであり、男にとってはこの上もない満悦感を与えてくれるものである。男が嬉しいといってもなんだかピッタリとこない。その言葉に変わるものにあえて感謝感激の文字をあてたい。幸いにもこの三月二十九日に私はこの場面にめぐりあうことができた。それは私にとって十年来の念願でもあった。

昭和四十一年から毎月行ってきた献血も目的の人数に達することが出来ず、市の係の職員と共にいつも頭を悩ましてきたことであった。幸にも本年度は十九回の献血ができたことと、次の事業所と地区民のご協力のおかげで、その目的を達することができた。

協和農機（三回）・鈴江農機（二回）・陵和工業・南国市役所（三回）・都築紡績・高知工専（二回）警察学校・南国ショッピング・成人の日・門田製材・三和地区民・ミロク製作所・日章地区民・少林寺拳法南国支部

あわせて供血者は一千二百六十六名、目的の一千二百六十五名を一名こえる成績であった。

南国市では毎年二百名あまりの血液が不足し、他の市町村にご厄介をかけてきた。この十年間、毎月行ってきた献血は、県下においてあまり類のないこととはいえ、その成果は常にかんばしいものではなかった。なんとか目的を達せんと三月には三回の献血を行ない、一回は夜間にするといった状態で市の職員もよくがんばってくれた。

また、二月には弛緩性出血による重症患者のため三十八本の供血が必要となり、二回の特別献血もよぎなくされたが、母子ともに生命をとりとめたことは、献血関係者にとってこの上もない喜びであった。

何よりも大切な生命。その生命を支えているものが血液である。私がこの十年間の献血の歩みを省りみて教えられることは、最も小さな善意で最も大きな奉仕は献血であるということである。

時が流れ、むかしは人の血をとって輪血をしていたと笑えるような日の一日も早からんことを祈るとともに、それまではたとえ吸血鬼といわれても私は血がほしいの信念のもとに血を求めていくつもりである。

終りに、献血者のみなさん方に心から感謝申し上げるとともに、今後のご協力をお願いいたします。

なお、献血についてのご相談は市公害環境課で行っています。

〝学校主任制〟についてのご意見を

最近、学校の主任制問題について、永井文部大臣と横枝委員長とのやりとり、国会や各県議会でのやりとり、各県、地教委と組合の先生方との交渉などが新聞やテレビをにぎわしています。このことはみなさんもご存知でしょう。

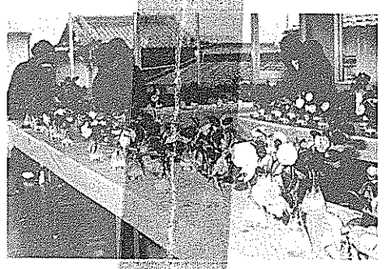
大勢は、全国的に四月の初めから実施する方向に進んでいます。

内容をくわしく書く紙面もありませんが、新聞やテレビ、その他の情報を利用して、PTAや父兄のみなさんの主任制について「実施してよいか、あるいは反対」などのご意見を市役所内広報委員会までおよせください。

広報委員会

ハッピーニュース

▼「郷土を花と緑でうずめよう」三月二十八、九日の両日、後免町公民館で第三回椿展が開かれました。展示場では、色鮮やかな約百五十種の切り花が展示され、見物客の目を楽しませました。また、苗木の即売や栽培相談コーナーが設けられるなど郷土に緑の春を呼ぶ一日でした。



▲今まで民間に委託していた庁内清掃をとり止め、職員の手ですることになりました。年間約七百万円の節約になるとあって、「再建は私たちの手で」と一丸となって協力。